どのように取り組む？買い物弱者対策

野口　利枝子（りえこ）　議員

問　地域の住民、特に買い物弱者の方がどれだけ不便を感じているのか実態をつかむことがまず大事である。

日本共産党は、新町・中央タウンの住民を対象に買い物アンケートを実施した。返ってきたアンケート188通にはご意見、ご提案などいろいろ記入されていた。こうした声にどう応えるのか。3月議会に同じ質問を行ったが、この間どのような取り組みをしてきたのか。

まちづくり振興部長　この地区については、移動販売車の活用を検討している。また、小規模のスーパー業者に現地を見てもらうなど、働き掛けを準備している。

さらに、買い物環境の充実という観点から、空き店舗を活用するための支援策を今年度中に打ち出す準備をしている。

中央タウンのスーパー跡地

堤防決壊への備えを！

小嶋（こじま）　吉浩　議員

利根川と小貝川に囲まれた取手市は、治水対策が宿命的な課題である。特に小貝川は、昭和に入って大きな堤防決壊が4度発生した。

1　今回の大地震で、堤防決壊の原因となる亀裂や空洞が堤防内部に生じている可能性がある。堤防の異常を発見するため、堤防付近の住民に所定の機関への連絡体制を依頼するべきと考えるが、どうか。

2　桜が丘から小文間高台への避難路に狭い個所があるが、いつごろ改良工事に着手する予定か。

総務部長　1　堤防の被災個所については、緊急復旧工事が終わっている。また、国土交通省河川事務所等での巡視や、はんらん注意水位を下げるなどして対応することになっている。今後は堤防近くの自主防災会に、大雨が降るときはご協力をいただけるよう対応したい。

建設部長　2　大震災復旧に予算が取られている。工事の優先度を整理してから実施する。

昭和25年小貝川決壊跡の石碑（大留）

20人が望ましい議員定数

石井　めぐみ　議員

私は、市議会議員の定数削減を提言して今回の補欠選挙に当選した。市民の定数削減の思いを受けての当選である。

市議会議員一人当たりの人口は、水戸市が9584人、日立市は6844人。対して取手市は来年の改選時に4230人である。

取手市の財政状況や社会の情報伝達の進歩を考えると議員定数は20人が望ましいのではないか。政治主導を期待して、行政のトップである市長の考えを問う。

市長　市町村の財政状況が厳しい中、議員定数も絞り込まれている流れにある。

取手の市議会でも、公聴会を開いて26人に削減する案と24人に削減する案で議論して、最終的に26人を選んだのだから、その結果については尊重したい。

議員定数について何人にすべきと私が言うのは違うのではないか。26人で最良の結果が出るよう議会も努力されるだろうと思う。

取手駅西口土地利用構想

佐藤　清　議員

問　ウェルネス・タウン構想の中の医療モール（C街区）についてはどういうイメージを持っているのか。

中心市街地整備課長　少子高齢化社会を踏まえ、C街区には医療・福祉機能の集積を図ることが望ましいと土地利用構想策定委員会で議論された。具体的には、内科、小児科、美容整形、健康増進等の内容が議論された。

問　その事業主体は。

都市整備部長　民間の力を借りたい。

問　西口ペデストリアンデッキ延伸はどのように。

答　エスカレーターの脇から延び、四ッ谷橋と一体的になる計画。

問　B街区については。

中心市街地整備課長　行政と民間の健康福祉サービスの集積個所。ウェルネスプラザと公園を計画。

問　パブリックコメント実施中の今定例会に取手駅西口都市整備事業の補正予算が上程予定だった。市民軽視、議会軽視ではないか。

答　来年度から事業に着手したいと考え、国庫補助申請等のスケジュールから今定例会の上程を準備したが、パブリックコメント実施中なので取り下げた。

部長任せ？市長の災害対策

林　京（みやこ）　議員

問　災害の状況把握の点で、取手市は紛れもなく遅れを取ったと思う。市長が陣頭指揮を執らなかったから、全体の対応が遅れたという総括はしないのか。

総務部長　市長初め災害対策本部はきちんと機能して、機能的に現場対応していたのは間違いないと思う。

問　対策本部は部長任せで、市長は外にばかり行っていたのではないか。現職市長として優先すべき仕事に間違いがないと言えるのか。

答　我々は現場対応で一生懸命頑張っていた。

問　取手市の災害対策本部では、壁に模造紙を張り付け、黒マジックで通報個所を書き出し、個別対応で消していく方法だった。強烈なアナログ世界というか、昭和の世界のように私は感じた。そんな状態だったのは、市長が災害対策本部は部長任せで、外にばかり出て陣頭指揮を執らなかったことが原因ではないのか。

市長　発災後はすぐに市役所に戻っている。その後は震災対策が一番の中心課題だった。外に出てばかりとか言われる筋合いはないし、事実に基づかないでたらめを言わないでほしい。

次の定例会は、9月5日（月曜日）開会の予定です。

現在、取手市議会議事堂では耐震補強のための工事を行っています。

議場部分の耐震強度不足により本会議の傍聴ができない状態となっていましたが、定例会開会までには工事が完了し、本会議の傍聴が可能となる予定です。

傍聴が可能になりましたら、市ホームページでお知らせいたします。